

大都市圏横浜における環境再生型海藻養殖による 【おさかなの街づくりプロジェクト】



【活動主体・連携体制】 横浜市漁業協同組合 金沢支所・幸海ヒーローズ合同会社・八千代エンジニアリング株式会社・横浜市

【プロジェクト概要】

大都市圏である横浜市金沢漁港において、コンブやワカメの**海藻のカーテン**を創出し、豊かな生態系と**おさかなのゆりかご**を取り戻す取り組みです。横浜市漁業組合金沢支所、幸海ヒーローズ、八千代エンジニアリング、横浜市の4者が連携し、ドローン等の最新技術を用いた精密なモニタリングと、市民参加型の環境教育を両立させています。気候変動対策としてのブルーカーボン創出に加え、海を通じた地域コミュニティの活性化を目指しています。

【6つのプロジェクトPRポイント】

①「おさかなの街づくり」という独自のコンセプト

単なる二酸化炭素の吸収（ブルーカーボン）に留まらず、海中をデザインし、魚たちが集まる豊かな海を「街」に見立てて再生するストーリー性。

②官・民・漁の強力な連携体制

民間企業(幸海ヒーローズ、八千代エンジニアリング)、地元漁協(横浜市漁協金沢支所)、行政(横浜市)が一体となった、持続可能で信頼性の高い実施体制。

③ドローンと解析ソフトを活用した科学的計測

PIX4Dmatic等を用いたオルソ画像解析により、総ロープ長をデジタルで精密に計測。客観的なデータに基づいたクレジット申請を実現。

④大都市圏(横浜)における大規模な海藻養殖

都市部でありながら、コンブ約5.5t、ワカメ約70.5tという高い水揚げ実績を誇り、都市型ブルーカーボンモデルの先駆けとなっている点。

⑤体験型・多世代交流による社会貢献

コンブの種付け・収穫体験イベントや、間引きコンブを活用した「足湯」企画など、地域域住民を巻き込んだ環境意識の向上。

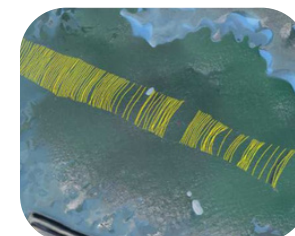
⑥生物多様性の向上

養殖筏が魚類の産卵場や隠れ家（ゆりかご）としての機能を発揮し、海中の生態系を豊かにする「海中デザイン」の実践。

【取組の特徴】



コンブの種付けイベント



ドローンを活用した画像解析



4ヶ月で4m超えのコンブ



一般向けに収穫作業体験を実施



企業間コラボ・商品開発の推進 小中高生向けの出張環境授業